業種	乗合バス
取組分野	情報伝達及びコミュニケーションの確保
テーマ	現場の課題を迅速に伝達することで、早期の問題解決を図るとともに、
	経営管理部門、営業所及び運転士のコミュニケーションを活性化
取組の狙い	現場の課題及び対応状況を「現場力向上ノート」に記載することにより、
	現場の課題が営業所管理職及び経営管理部門まで迅速に伝達され、各担当
	部署が速やかに解決策を検討して現場にフィードバックを図る。
	また、経営管理部門、営業所及び運転士のコミュニケーションの活性化
	を図る。
具体的内容	西武バス株式会社では、経営トップの発案により、平成26年度より本
	社担当者と営業所の連絡を密にし、早期に課題解決を行う取組として「現
	場力向上ノート」を導入した。
	「現場力向上ノート」とは、各現場の要望や情報およびその対応を管理
	部門とやりとりする仕組みであり、各運転士が記載し、各営業所長や本社
	各担当部が現場の課題を把握のうえ、必要に応じ早期に対応することで、
	安全管理体制の向上に役立てている。
	また、「現場力向上ノート」は、運転士と営業所管理職及び営業所と経営
	管理部門が現場の課題を確実に共有して対応すること、対応状況を営業所内に規ラオスことにより推禁性温の「見える化」は図っている
	内に掲示することにより進捗状況の「見える化」も図っている。 ※「現場力向上ノート」は、システムの総称。記入紙、電子媒体を使用。
	ペー先場が同工/一下」は、シベノムの総称。記八帆、电丁燥体を使用
	 内容
	運転士からの要望・情報
	記載内容:氏名、年月日、事象
	2~3行程度の簡潔な記載(運転士へのヒアリング含む)
	↑ ↑
	各営業所による対処
	記載内容:氏名、年月日、対処内容
	2~3行程度の簡潔な記載
	各営業所長の内容確認(必要に応じ、対処実施)
	記載内容:対応者氏名、確認内容・対処内容(必要に応じ)
	2~3行程度の簡潔な記載
	本社報告
	<u> </u>
	本社各担当部 報告把握、対処案作成及びフィードバック
	記載内容:対応者氏名 対処内容



【現場力向上ノートの営業所内掲示】

取組の効果

- ・現場力向上ノート記載件数は、平成26年度において約30件/月の実績
- ・現場の課題・要望等について、「いつ、誰が、何を」を記載し「いつ、 誰が、どう対応」を記載することにより対応状況が迅速かつ確実に把 握できるようになった。
- ・営業所に現場力向上ノートが掲示されることにより、現場の課題等に対する進捗状況が把握できるため、現場のモチベーション向上並びに運転士、営業所及び経営管理部門とのコミュニケーションの活性化が図られるようになった。
- ・従前において、営業所から本社に報告されなかった案件が本社で把握で きるようになった。

事業者名

西武バス株式会社 運輸管理部

(連絡先 04-2995-8125)